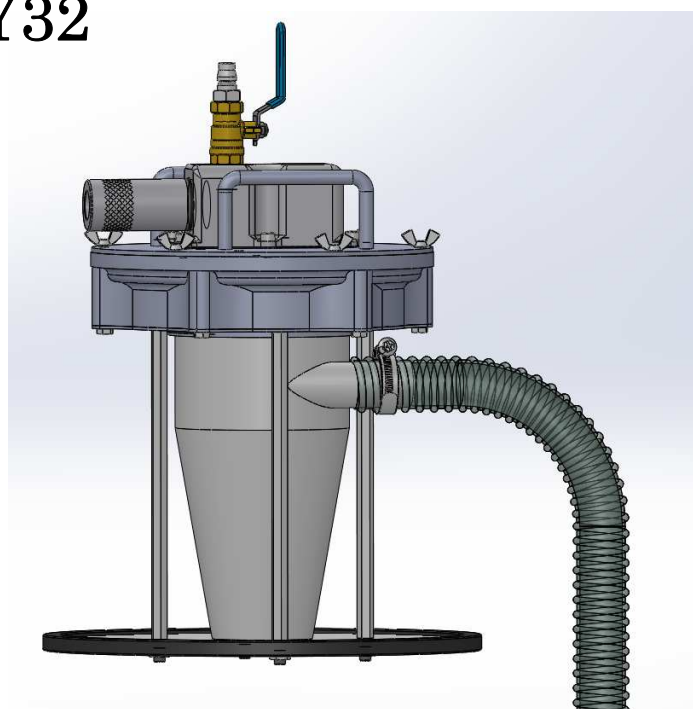


オープンペール缶・オープン 50L,100L,200L 缶用
エア式サイクロンクリーナー

取扱説明書

■ APPQO-CY25

■ APPQO-CY32



もくじ

1	．．．．．	安全上の注意
2 ～ 4	．．．．．	ご使用になる前に
5 ～ 6	．．．．．	使用条件・使用方法
7	．．．．．	こんなときには
8	．．．．．	保守・点検・仕様表・性能表
9 ～ 10	．．．．．	外形寸法・部品図・部品表
13	．．．．．	保証・アフターサービス

安全上の注意

- ・ この取扱説明書には、正しく安全にご使用いただくための注意事項が記載されています。ご使用になる前に必ず本書をお読みになり、使用方法を理解してください。（誤った使用方法是事故等の原因となります。）
- ・ 取扱説明書は大切に保管し、何時でも見られるようにしておいてください。

危険

誤った取り扱いをすると、死亡または重症を負う危険が切迫して生じる事が想定される内容を示します。

警告

誤った取り扱いをすると、死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示します。

注意

誤った取り扱いをすると、傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

ご使用になる前に

危険



★**紛体の取扱説明書を熟読し、正しくご使用ください。**
使用する粉体については紛体の取扱説明書を十分にお読みの上、
正しくご使用ください。



★**紛体に接触したときは適切な対応をしてください。**
粉体が皮膚に接触、誤食などしたときは、紛体の取扱説明書に従い
適切な処置を行うか、医師の診断を受けてください。



★**火気厳禁でご使用ください。**
★**いかなる場合もアース（接地）してください。**
爆発の危険がある粉体・場所・状況では使用しないでください。
静電気による引火、粉塵爆発のおそれがあります。

警告



★**安全な場所で使用してください。**
幼児・子どもが触れない様、安全な場所で使用してください。
運転中はクリーナーから離れないでください。



★**医師の診断を受けてください。**
使用中に体調が悪くなったときは、すぐに医師の診断を受け
てください。



★**保護服を着用してください。**
紛体の取扱説明書に従い、保護服を着用してください。



★**分解や修理・改造は絶対に行わないでください。**
通常時には、修理技術者以外の人には分解や修理・改造を
絶対に行わないでください。



.....

★古い粉体を使用しないでください。

粉体を替える時は、必ず前の粉塵等をよく清掃してから、新しい粉体を使用してください。粉体が混ざると、化学反応を起こす場合があります。

.....

★使用可能温度

使用可能粉体温度は 0～60℃です。

.....

注意

.....



.....

★点検・修理をご依頼ください。

作動しないなど異常がある場合は、事故防止の為直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店に点検・修理をご依頼ください。そのまま使用されますと、事故やけがの原因になる恐れがあります。

.....



.....

★本体に衝撃を与えないでください。

各部が正常に作動しなくなる恐れがあります。また、故障の原因になります。

.....



.....

★5 馬力以上のコンプレッサーをご使用ください。

(0.4～0.6MPa)

★圧縮空気の中の水分を取り除いてください。

粉体を扱うため、圧縮空気の中の水分をエアフィルタ等を取り除いてください。(別売)

★エアを注入するとエア排気口からエアが吐出されます。

排気口の向きには十分注意して下さい。

★本クリーナーはオープンペール缶・オープン 50L, 100L, 200L
ドラム缶用に設計されています。

(P. 5「使用条件」、P. 8「仕様表」参考)

★APPQ0-CY32 をオープン 50L, 100L, 200L ドラム缶に使用する場合は、
各種缶用の天板（別売）を併せてご使用ください。

★使用後は必ずサイクロン内部の粉塵を取り除いてください。

内部に粉塵がありますと故障や性能不良の原因となります。

(P. 6「サイクロン内部の清掃」参考)

★缶内が粉体で一杯になると、吸いが弱くなったり、粉体が吐出
エアに混じって吹き出る場合があります。

★APPQ0-CY は屋内専用です。屋外で使用する場合は雨風を防ぐ
カバー、小屋などを設けてください。

★このクリーナーを備え付けられた業者の方、あるいは販売
された方は本書を実際に取り扱う方まで必ず届けてください。

★転置したり、取扱責任者が変わった場合は本書を製品に添付
するか、譲渡して下さい。

★本書を紛失、損傷した場合には当社または、販売店に発注し
てください。

※本取扱説明書で示す安全指示事項は起こりうるすべての
状態を表しているものではありません。クリーナーの安全
性には十分注意しておりますが、運転や保守に当たりまし
ては十分な注意と配慮をお願いします。

使用条件

1. APPQ0-CY25 : オープンペール缶に使用します。
APPQ0-CY32 : オープン 50L, 100L, 200L 缶に使用します※
※ご使用には別途、50L 缶用天板 (DTB-50) 100L 缶用天板 (DTB-100) 200L 缶用天板 (DTB) が必要です。
各種缶用天板を使用しない場合は、ペール缶にご使用いただけます。
2. 供給エア圧力 : 0.4~0.6MPa

使用方法

開始

1. サイクロンをペール缶又は各種缶用天板に載せてください。
2. アース線の1本をドラム缶へ、もう1本を地面に接地させてください。
3. 供給圧力が十分にあることを確認します (0.4~0.6MPa)
4. エアホースにコンプレッサーの圧縮エアを供給し、ボールバルブを開いてください。先端の丸型ノズルより吸引されます。
※ボールバルブを開くと吸引が始まりますが、内部の気流が安定するまで (5~10 秒間) 待ってから、粉体等の吸引を開始してください。

【注意】

- ・ 静電気が発生する可能性があるため、必ずアース線を使用し、アース（接地）してください。
- ・ 供給圧力が 0.4MPa 以下の場合、吸引力が弱く吸い込まない場合があります。
- ・ 供給圧力が 0.6MPa 以上の場合、ドラム缶が潰れる場合があります危険です。必ず 0.4~0.6MPa 以下でご使用ください。
- ・ ペール缶や各種ドラム缶内の粉体がサイクロンの底面に達した状態で吸込みを続けると、粉体がサイクロン内に溜まり、吸込める量が少なくなります。

停止

1. ボールバルブを閉めて停止させます。
2. エアホースからエアホースを外します。
3. 使用後は、サイクロン内部の清掃 (次項) の手順に従って内部の清掃を行ってください。



50L, 100L 缶用天板
(DTB-50, DTB-100)
200L 缶用天板
(DTB)



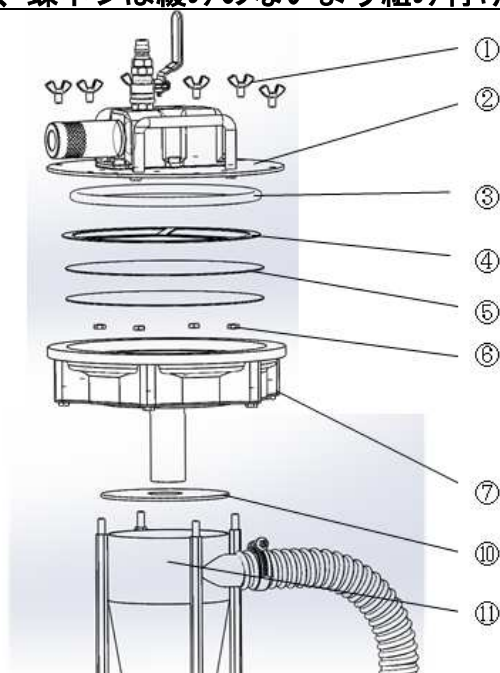
天板使用例
左 : 未使用 右 : 使用時
(缶・キャリアはオプションです)

サイクロン内部の清掃

使用後は必ず内部の清掃を行ってください。付着した粉塵等が内部に残っていると、故障や性能不良の原因となる可能性があります。

1. エアホースがエアカプラから外れていることを確認してください。
2. 蝶ネジ①を6本外し、エジェクタ部②を取り外します。
3. ケース部⑦中にあるOリング③とオサエ④を取り外して、フィルター⑤2枚を取り出します。
フィルターの洗浄(エアブロー等)は汚れの度合いにより行って下さい。フィルターの目詰まりにより吸引力に影響が出ますので必要都度行うようにしてください。汚れが落ちない場合は交換をしてください(別売、P.10「部品図・部品表」参照)
フィルター取付の際は、凸凹側を下にして、つるつるした面を上にして2枚重ねてご使用ください。
4. ケース部内に付着したり、溜まった粉体を取り除いてください。
5. ケース底面のフランジナット M6⑥を外して、ケース部⑦、本体パッキン⑩、本体部⑪に分け、ケースや本体部の内部に付着したり、溜まった粉体を取り除いて清掃してください。
6. 2. と 5. で取り外した部品(本体部⑪、本体パッキン⑩、ケース部⑦、フランジナット M6⑥、フィルター⑤ 2枚、オサエ④、Oリング③、エジェクタ部②、蝶ネジ①)を組み付けてください。

フランジナット M6、蝶ネジは緩みのないよう組み付けてください。



こんなときには

クリーナーのご使用に問題がある場合は下表をご確認ください。

症状が改善しない場合や、その他不具合につきましてはお客様で分解されずに、弊社修理受付係もしくはご購入されました販売店への問い合わせをお願い致します。

症状	原因	対策
吸入しない	圧縮エアが供給されていない	・エアホースの接続を確実に行う。 ・エアバルブを確実に開く。
	圧縮エアが本体から漏れている	・クリーナーとペール缶、クリーナーと専用天板とドラム缶を確実にセットする (p. 5 参考) ・ペール缶、ドラム缶の縁に、傷やへこみが無いことを確認する。 ・O リングに切り傷が無いことを確認する。 ・組立を確実に行う (p. 6, 10 参考)
吸入量が少ない	圧縮エアが十分に供給されていない	・圧縮エアの圧力を確実に 0.4~0.6MPa にする。 ・エアバルブを確実に全開にする。
	圧縮エアが本体から漏れている	上記参照。
	フィルターが詰まっている	・フィルターメンテナンスを行う (p. 6, 10 参考)
	クリーナーやペール缶、ドラム缶内が吸い込んだ粉で一杯になっている	・ペール缶、ドラム缶内の粉体を取り除く。 ・クリーナー内の清掃を行う (p. 6, 10 参考)
粉体が吐出エアに混じり吹き出る	フィルターが詰まっている	上記参照。
	クリーナーやペール缶、ドラム缶内が吸い込んだ粉で一杯になっている	上記参照。

保守・点検

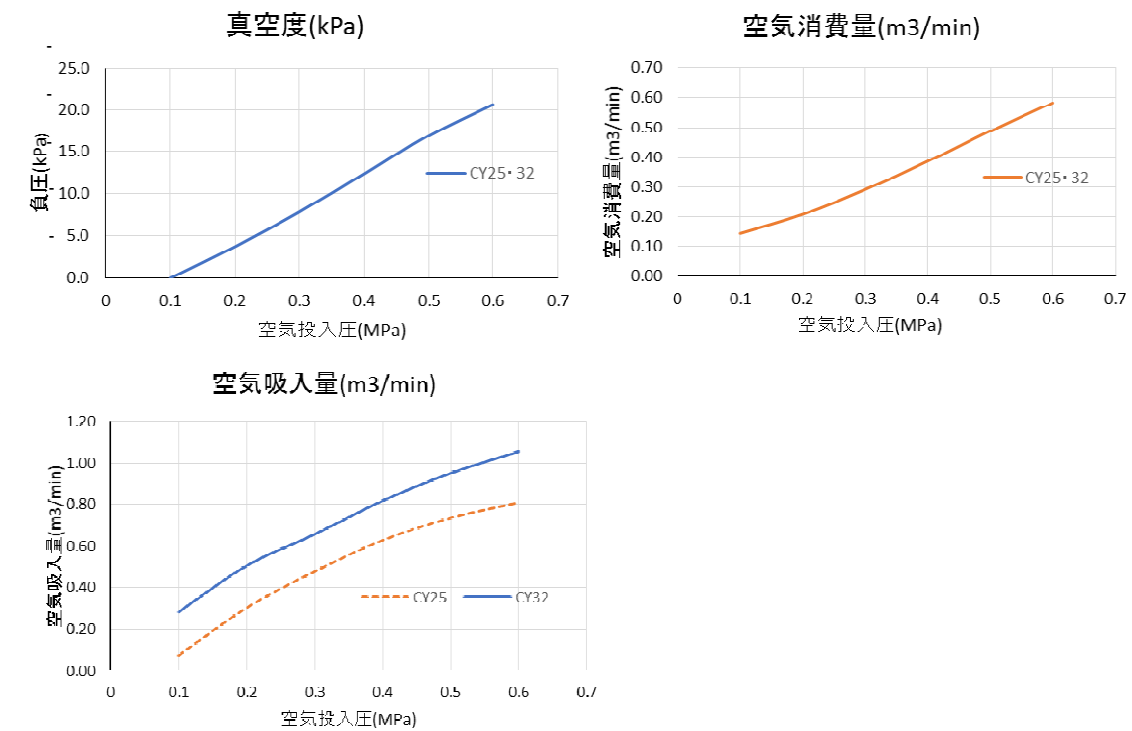
(p. 6)の要領でクリーナー内を定期的に掃除し、必要があればフィルターを新しいものに交換してください(別売、P. 10 参照)

仕様表

型式	缶タイプ	乾式/ 湿式	材質			重量 (kg)	コンプレッサー 馬力	騒音 (dB) (1m 時)
			本体 ・ ノズル	パッキン	ホース 長さ 内径			
APPQ0-CY25	オープン ペール缶	乾式	AL SUS SPHC	CR ゴム NBR	PVC 2m φ25	7.8	5 馬力 以上	90
APPQ0-CY32	オープン 50L 缶, 100L 缶 200L 缶※				PVC 2m φ32	7.7		

※ご使用には別途、50L 缶用天板 (DTB-50) , 100L 缶用天板 (DTB-100) , 200L 缶用天板 (DTB) が必要です。
各種缶用天板を使用しない場合は、ペール缶にご使用いただけます。

性能表

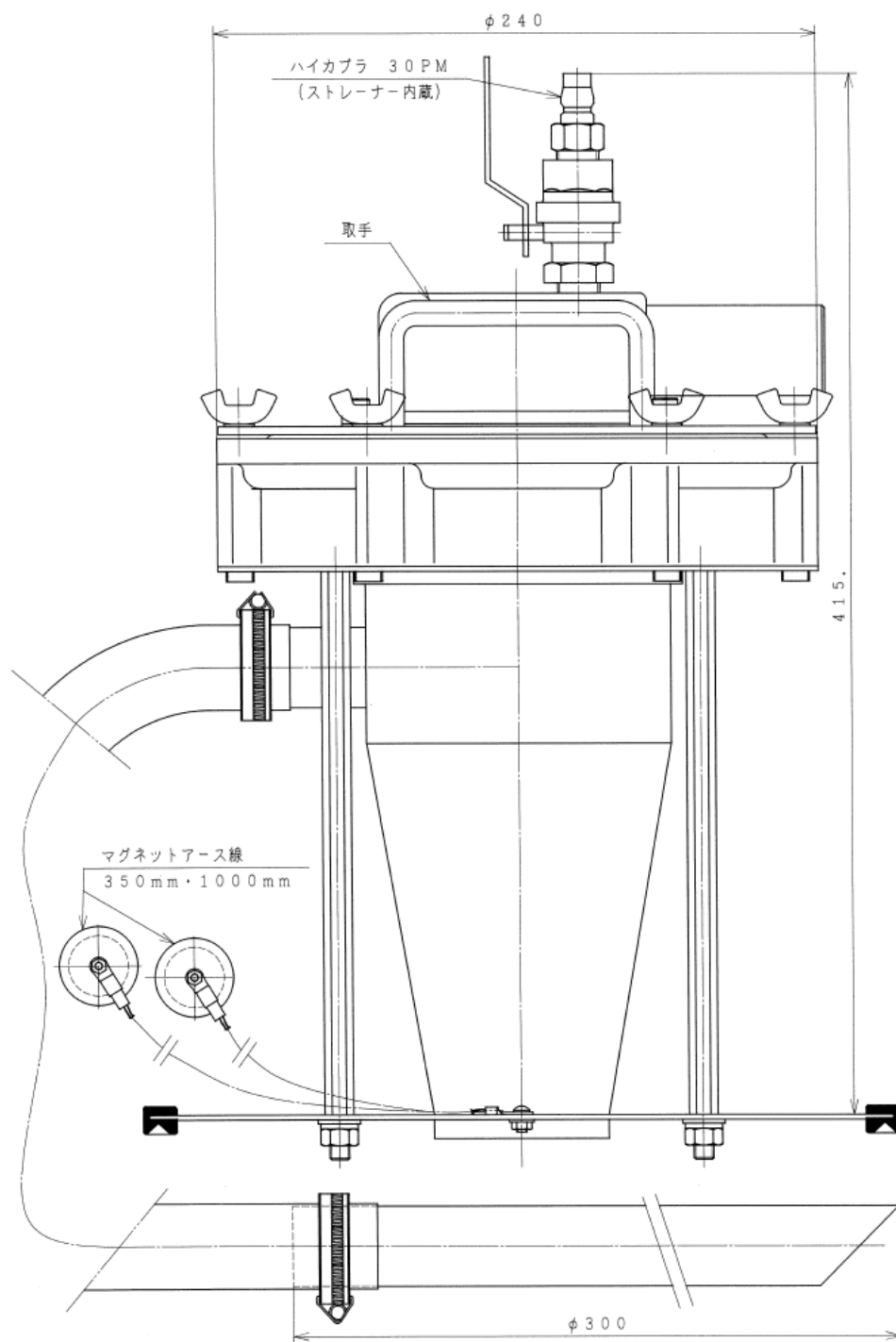


外形寸法

APPQO-CY25/32 (ホースとノズルの径のみ異なります)

静電ホース CY25 : 内径 $\phi 25$ / CY32 : 内径 $\phi 32$

ノズル CY25 : 外径 $\phi 25$ / CY32 : 外径 $\phi 32$



部品図・部品表

APPQ0-CY25, 32

番号	部品名 (セット名)	個数
①	蝶ボルト M6	6
②	エジェクタ部	1
(③)	O リング P185	1
④	オサエ	1
(⑤)	フィルター	2
⑥	フランジナット M6	4
⑦	ケース部	1
(⑩)	本体パッキン	1
⑪	本体部	1
⑫	ホースクリップ※	2
⑬	静電ホース※	1
⑭	V パッキン	1
⑮	アース線 350mm	1
⑯	アース線 1000mm	1
⑰	ノズル※	1

※印は CY25 と CY32 でサイズが違います。

13. ホースクリップ

CY25 : サイズ 中

CY32 : サイズ 大

14. 静電ホース

CY25 : 内径 φ25、長さ 2m

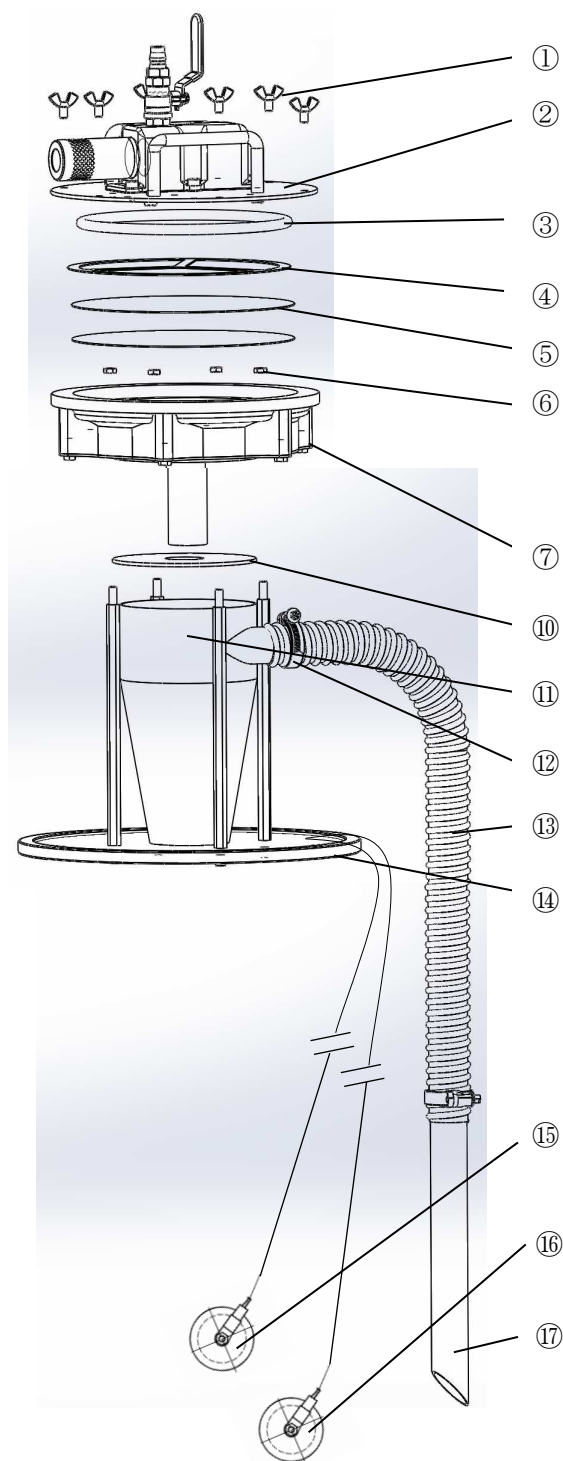
CY32 : 内径 φ32、長さ 2m

16. ノズル

CY25 : 外形 φ25、長さ 300mm

CY32 : 外形 φ32、長さ 300mm

(③)、(⑤)、(⑩)は販売可能部品です。
部品代金 + 送料が掛かります。
価格は販売店にお問合せください。



保証・アフターサービス

この度はアクアシステム製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
製品管理には万全を期しておりますが、万一、本製品が故障した場合の保証範囲は、次の通りです。

1. 修理について

補修用パーツの発注および修理などのお問い合わせは、品番・製造番号・ご購入日などをご確認のうえ、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

2. 下記の場合、ご購入の日から12か月以内であれば、無償にて修理・調整を行います。

取扱説明書に沿った保守点検を実施したにもかかわらず、保証期間内に当社の設計・組立の不備により、故障または破損が発生した場合。

※ただし、故障または破損に起因する種々の出費およびその他の損害に関する保証はいたしかねます。

※また、無償修理時、故障原因に関係なく消耗し交換が必要と判断した部品については有償とさせていただきます。

3. なお、期間外や5項の免責範囲に記載の事項については有償扱いとなります。

また、当社純正部品以外を使用した場合のクレーム及び修理のご依頼などは、お受けできないばかりでなく、すべての保証の対象から外れる場合があります。（他メーカー製品に当社部品を使用した場合も同様とします。）

4. いずれの場合でも、サービスセンターへの送料、また返送費はお客様負担となります。

5. 免責範囲（保証期間内でも次に該当する場合は有償となります）

- ① 誤った取扱い（取扱説明書と異なるご使用）により生じた故障。
- ② 弊社以外で修理・分解・改造されたことによる故障。
- ③ 保管上の不備や手入れの不備による故障。
- ④ 購入年月日を証明する書類がない場合（納品書・請求書等）
- ⑤ 使用頻度が著しく多い場合の部品の消耗。

保証期間中の修理など、アフターサービスについてのご不明な場合は、下記までお問い合わせください。

《お問い合わせ先》
アクアシステム株式会社
【修理受付係】 Tel 0749-47-5215

memo

memo

memo

AQUA アクアシステム株式会社
SYSTEM CO.,LTD. ☎ 0749(47)5215
FAX 0749(28)1474

〒522-0058 滋賀県彦根市須越町1190

E-mail aqua@aqsys.co.jp

<http://www.aqsys.co.jp/>